

10/23 WED
2024

24 THU



熊本の教訓を世界へ そして未来へ

熊本地震や集中豪雨など
大規模自然災害を経験した熊本で、
命を守る対策と創造的復興を学ぶ。

Lessons from Kumamoto for the World and the Future

Learn about life-saving measures
and creative reconstruction in
Kumamoto, which has experienced
large-scale natural hazards such
as earthquakes and torrential
rains.



<https://tsunamisummit2024.pref.kumamoto.jp>



「世界津波の日」2024

高校生サミット in 熊本 at 熊本城ホール

熊本市中央区桜町3番40号

High School Students Summit on "World Tsunami Awareness Day" 2024 in Kumamoto

at KUMAMOTO-JO HALL
3-40 Sakura-machi, Chuo-ku, Kumamoto City



WORLD TSUNAMI
AWARENESS DAY
5 NOVEMBER

世界約40カ国・地域、約500人の高校生が集い、
自然災害から命を守るため、
自分たちに何ができるかを議論し共に学びます。

Around 500 high school students from 40 countries and regions will
gather together to discuss and learn what they can do to protect their
lives from earthquakes, tsunamis, and other natural hazards.

併催イベント
Side Event



ぼうさいこくたい
2024 in 熊本
National Conference on Promoting Disaster Risk Reduction

10/19 SAT → 20 SUN

開催場所/
熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場
Venue/
Kumamoto-Jo Hall, Kumamoto City International Center, Hanabata Hiroba Square



主催：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会 共催：国連防災機関(UNDRR)神戸事務所

後援：国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官(防災担当)、外務省、文部科学省、国土交通省、環境省、気象庁、経済協力開発機構(OECD)、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)、国際協力機構(JICA)、地球環境戦略研究機関(IGES)

Organizers: Kumamoto Prefecture, Kumamoto Prefectural Board of Education, Kumamoto City, Kumamoto City Board of Education Co-organizers: United Nations Office for Disaster Risk Reduction (UNDRR) Kobe Office
Supporting Organizations: National Resilience Promotion Headquarters, Director General for Disaster Management, Cabinet Office of Japan, Ministry of Foreign Affairs of Japan, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan, Ministry of the Environment, Government of Japan, Japan Meteorological Agency,

Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD), Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA), Japan International Cooperation Agency(JICA), Institute for Global Environmental Strategies (IGES)



開催概要

1 名称 「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本

2 開催概要

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。翌2016年からは、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として、「世界津波の日」高校生サミットが開催されています。

熊本県では、世界最大級のカルデラを持つ阿蘇の雄大な草原、外海内海に面した島々や長い海岸線、1000m級の山々が連なる九州山地とそこを源流とした河川が潤す大地など、人々は豊かな自然と共に暮らしています。

私たちは、この豊かな自然の恩恵を享受する一方、地震や豪雨、火山噴火など脅威にもさらされてきました。2016年に震度7の激震に2度見舞われた「熊本地震」や、「2020年7月豪雨」で多くの尊い命が奪われ、家屋倒壊等により生活の場が奪われるなど甚大な被害が発生しました。

これらの大災害に対し、私たちは、単に元の姿に戻すのではなく、よりよい復興を遂げ、更なる発展に繋げるという「創造的復興」を掲げ、日本全国、そして世界中から寄せられたたくさんの支援を力に、復旧・復興に取り組んできました。様々な災害を経験した私たちには、この経験や教訓を世界に発信し、継承していく使命があると考えています。令和6年能登半島地震においても、被災者支援や一日も早い復旧・復興の実現に向け全力で支援をしています。また、近い将来、発生が危惧される「南海トラフ地震」に備え、本県は、新たな県防災センターを中心に、九州を支える広域防災拠点機能の強化に取り組んでいます。

世界では2023年以降だけでもトルコ南東部地震、モロッコ地震、ハワイ州マウイ島の山火事、リビアの大洪水、台湾東部沖地震など、いずれも多数の犠牲者・被災者を出す大災害が頻発しています。また、気候変動の影響により気候関連ハザードが頻発化・激甚化しており、世界の持続可能な開発を進める上で、災害による被害の軽減は国際社会の重要な課題となっています。

私たちは、こうした世界共通の脅威である自然災害に対し、経験や教訓を通じて培った知識や技術を、国境を越えて持ち寄り、相互理解と連携により、防災・減災、国土強靱化に取り組む必要があります。特に地震をはじめとする災害の頻発国である日本として、災害の経験や教訓、それに基づく防災の取組の知見を世界に共有し、世界の災害リスクの軽減に貢献する意義は大きいと考えます。

本年は熊本において、地震や津波などの自然災害による被害を最小化し、国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と世界各国の「きずな」を一層深めることを目的に、「世界津波の日」2024 高校生サミット in 熊本を開催します。

3 主催 熊本県、熊本県教育委員会、熊本市、熊本市教育委員会

4 共催 国連防災機関（UNDRR）神戸事務所

5 後 援 国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、
文部科学省、国土交通省、環境省、気象庁、経済協力開発機構（OECD）、
東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）、国際協力機構（JICA）、
地球環境戦略研究機関（IGES）

6 開催日 2024年10月23日(水)～10月24日(木)

7 会 場 熊本城ホール（熊本市中央区桜町3-40）他

8 参加者（予定） 高校生524名（国内314名、海外210名）

区分			高校生
国内参加者	県内	27校	182名
	県外	51校	132名
小計		78校	314名
海外参加者	42ヵ国・地域		210名
合計			524名

9 使用言語 英語

10 プログラム（予定）

1日目（10月23日(水)）

2日目（10月24日(木)）

9:00-14:00	分科会（発表・討論）	9:00-9:30	記念植樹・記念碑除幕式 @くまもと街なか広場
14:00-15:30	開会式 ・主催者挨拶(熊本県知事) ・来賓挨拶(熊本県議会議長、熊本市議会議長) ・スタディツアー報告等	10:00-12:00	総会・閉会式 ・主催者挨拶(熊本市長) ・分科会報告 ・大会宣言発表等
15:30-16:30	分科会（討論・総括）		
16:30-17:00	展示ブース見学		
18:00-19:30	レセプション @ホテル日航熊本		

※開会式と総会・閉会式については、WEBでライブ配信予定です。

※時間は、今後、変更となる場合があります。

※なお、海外参加者は次のプログラムにも参加します。

プログラム	
10月21日(月)	スタディツアー
10月22日(火)	3班に分かれ、それぞれの訪問地において防災・減災の取組を学ぶとともに、地元高校生との交流等を行う。 [1班訪問地] 球磨川流域方面 [2班訪問地] 阿蘇方面 [3班訪問地] 天草方面

11 テーマ・分科会

(1) 全体テーマ

“熊本の教訓を世界へ、そして未来へ”

～熊本地震や集中豪雨など大規模自然災害を経験した熊本で、
命を守る対策と創造的復興を学ぶ～

(2) 分科会の分野

(自助・共助で防災を考える)

災害はどこでも起こりえます。地域の災害リスクを理解・予測し、日常的に備えるとともに、命を守るために必要な行動を考えます。

(自然との共生で減災を考える)

自然は人々の生活に恩恵をもたらす一方、幾度も災害を引き起こしてきました。自然を守りながら被害を回避・軽減する取組みを考えます。

(大規模災害を教訓として創造的復興を考える)

災害からの復旧・復興について、単に元に戻すのではなく、よりよい復興を遂げ、将来の発展に繋がるような創造的復興を考えます。

「世界津波の日」2024高校生サミット in 熊本
国内参加高校・参加者数一覧(予定)

合計 国内(78校) 高校生314名

■県内(27校) 高校生182名

No.	都道府県	区分	学校名	No.	都道府県	区分	学校名
1	熊本県	公立	済々黌高等高校	15	熊本県	公立	天草高等学校
2	熊本県	公立	熊本高等高校	16	熊本県	公立	上天草高等学校
3	熊本県	公立	第一高等高校	17	熊本県	公立	熊本工業高等学校
4	熊本県	公立	第二高等学校	18	熊本県	公立	玉名工業高等学校
5	熊本県	公立	熊本西高等学校	19	熊本県	公立	南稜高等学校
6	熊本県	公立	熊本北高等学校	20	熊本県	公立	必由館高等学校
7	熊本県	公立	玉名高等学校	21	熊本県	私立	九州学院高等学校
8	熊本県	公立	鹿本高等学校	22	熊本県	私立	開新高等学校
9	熊本県	公立	大津高等学校	23	熊本県	私立	尚綱高等学校
10	熊本県	公立	高森高等学校	24	熊本県	私立	熊本信愛女学院高等学校
11	熊本県	公立	宇土高等学校	25	熊本県	私立	熊本中央高等学校
12	熊本県	公立	八代高等学校	26	熊本県	私立	文徳高等学校
13	熊本県	公立	水俣高等学校	27	熊本県	私立	菊池女子高等学校
14	熊本県	公立	人吉高等学校				

■県外(51校) 高校生132名

No.	都道府県	区分	学校名	No.	都道府県	区分	学校名
1	北海道	公立	北海道浦河高等学校	27	三重県	公立	三重県立四日市高等学校
2	北海道	公立	北海道滝川高等学校	28	三重県	公立	三重県立津工業高等学校
3	北海道	公立	札幌市立札幌旭丘高等学校	29	大阪府	公立	大阪府立高石高等学校
4	北海道	公立	札幌市立札幌開成中等教育学校	30	大阪府	私立	学校法人創価学園関西創価高等学校
5	北海道	私立	学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校	31	兵庫県	国立	神戸大学附属中等教育学校
6	宮城県	公立	宮城県多賀城高等学校	32	兵庫県	公立	兵庫県立明石北高等学校
7	宮城県	公立	宮城県仙台第三高等学校	33	兵庫県	公立	兵庫県立姫路東高等学校
8	宮城県	公立	宮城県仙台第一高等学校	34	兵庫県	私立	学校法人滝川学園滝川高等学校
9	宮城県	公立	宮城県気仙沼高等学校	35	奈良県	国立	奈良女子大学附属中等教育学校
10	栃木県	公立	栃木県立佐野高等学校	36	奈良県	公立	奈良県立畝傍高等学校
11	埼玉県	公立	埼玉県立不動岡高等学校	37	奈良県	私立	学校法人奈良育英学園 奈良育英高等学校
12	東京都	国立	東京学芸大学附属国際中等教育学校	38	和歌山県	公立	和歌山県立耐久高等学校
13	東京都	公立	東京都立国分寺高等学校	39	和歌山県	公立	和歌山県立那賀高等学校
14	東京都	私立	学校法人富士見丘学園 富士見丘高等学校	40	和歌山県	公立	和歌山県立向陽高等学校
15	東京都	私立	学校法人井之頭学園藤村女子高等学校	41	岡山県	公立	岡山県立岡山操山高等学校
16	神奈川県	公立	横浜市立南高等学校	42	愛媛県	公立	愛媛県立松山南高等学校
17	神奈川県	公立	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	43	愛媛県	公立	愛媛県立宇和島東高等学校
18	神奈川県	公立	横須賀市立横須賀総合高等学校	44	高知県	公立	高知県立室戸高等学校
19	新潟県	公立	新潟県立高田高等学校	45	高知県	公立	高知県立高知国際高等学校
20	新潟県	公立	新潟県立三条高等学校	46	高知県	公立	高知県立大方高等学校
21	新潟県	私立	学校法人石善学園新潟第一高等学校	47	福岡県	公立	北九州市立高等学校
22	石川県	公立	石川県立輪島高等学校	48	福岡県	私立	学校法人明治学園 明治学園中学校・高等学校
23	石川県	公立	石川県立七尾高等学校	49	大分県	公立	大分県立佐伯鶴城高等学校
24	岐阜県	公立	岐阜県立岐南工業高等学校	50	宮崎県	公立	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
25	静岡県	私立	学校法人新静岡学園 静岡学園高等学校	51	鹿児島県	私立	学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
26	愛知県	私立	学校法人愛知真和学園大成高等学校				

～ 「事前学習会」 の実施報告 ～

[日時] 令和6年（2024年）8月1日（木）10：00～15：25

※同日・同会場にて、サミット分科会でファシリテーターを担う英語教員・ALTの研修会も実施

[場所] 熊本県防災センター

[対象] サミットに参加する県内高校生157名、高校生議長等5名

[目的] サミットに参加する県内高校生が一堂に会し、気象変動による災害と熊本県の災害を学ぶことで、防災・減災・復興の取組等について理解を深めるとともに、サミット当日を想定したプレゼンテーションやディスカッションの練習を行い英語での発信力を高める。

[プログラム]

時間	項目	内容
10:00-10:10	開会	
10:10-12:00	防災学習Ⅰ	【見学】 オペレーションルーム、展示・学習室
	防災学習Ⅱ	【講義】 「自然災害と防災気象情報」 ※熊本地方気象台
12:00-13:00	(昼食)	記念撮影を含む
13:00-13:30	英語学習Ⅰ	【講義】 「高校生サミット分科会の進め方と効果的なプレゼンテーション」
13:30-14:15	英語学習Ⅱ	【演習】 「模擬プレゼンテーション」
14:25-15:15	英語学習Ⅲ	【演習】 「模擬ディスカッション」
15:15-15:25	閉会	

～高校生議長等の挨拶～



～防災学習の様子～



～英語学習の様子～



「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本
海外招聘国・地域(予定)

高校生210名(42カ国・地域)

アンゴラ
インド
インドネシア
オーストラリア
オランダ
カナダ
韓国
カンボジア
キリバス
クック諸島
サモア
シンガポール
スリランカ
ソロモン
タイ
台湾
中国
チリ
ツバル
ドイツ
トルコ
トンガ
ナウル
ニュージーランド
バヌアツ
パプアニューギニア
パラオ
フィジー
フィリピン
ブラジル
フランス
ブルネイ
米国(ハワイ)
ベトナム
ペルー
マーシャル
マレーシア
ミクロネシア
メキシコ
モルディブ
モンゴル
ラオス

～ 若き津波防災大使 スタディツアー(予定) ～

<目的>

サミットに参加する海外高校生が3班に分かれ、それぞれの訪問地において、防災・減災の取組を学ぶとともに、地元高校生との交流等を行う。

<参加者> ※現時点

海外高校生210名（42ヶ国・地域）

<日程>

令和6年（2024年）10月21日（月）～10月22日（火）

<主な訪問先> ※現時点

	球磨川流域方面 <1班>		阿蘇方面 <2班>			天草方面 <3班>		
	1号車	2号車	3号車	4号車	5号車	6号車	7号車	8号車
10/21 (月)	熊本城 南稜高校	熊本城 人吉高校 青井阿蘇神社	断層見学 (益城町) 大津高校 トロッコ鉄道	断層見学 (@益城町) 阿蘇中央 高校 阿蘇神社	高森高校 トロッコ鉄道 阿蘇神社	熊本城 宇土高校 防災学習 (上天草市)	熊本城 上天草高校 防災学習 (上天草市)	熊本城 天草キリシタン館 防災学習 (天草市)
10/22 (火)	語り部 球泉洞 (球磨村) 防災訓練 (八代港)	人吉クラフト パーク 語り部 (球磨村) 防災訓練 (八代港)	KIOKU 火山博物館 熊本城	火山博物館 KIOKU 熊本城	火山博物館 KIOKU 熊本城	イルカウォッチング 天草四郎 ミュージアム 防災学習 (宇城市)	三角西港 松合食品 見学 防災学習 (宇城市)	天草高校 三角西港 防災学習 (宇城市)

天草方面<3班>

三角西港



(出典) 宇城市HP

島原大変講義(防災学習)



(出典) 肥前国島原津波之絵図(熊本大学永青文庫蔵)

イルカウォッチング



阿蘇方面<2班>

KIOKU(熊本地震震災ミュージアム)



トロッコ鉄道



球磨川流域方面<1班>

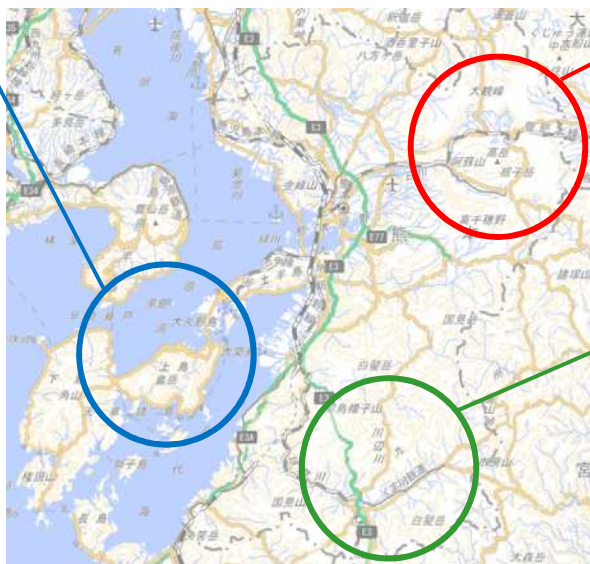
青井阿蘇神社



球磨村語り部



(出典) アークイブくまむらHP



(出典) 国土地理院発行地形図

※今後変更の可能性あり。

～ 高校生議長等の御紹介 ～



議長
熊本県立熊本高等学校
河合 智彩

「世界津波の日」高校生サミットは2015年の国連総会において、「世界津波の日」が制定されたことをきっかけに翌2016年から開催されるようになりました。このたび第6回目のサミットが、2024年10月23日、24日の二日間、熊本城ホールで開催されます。本サミットでは世界各国の多くの高校生が参加し、議論を通じて自然災害の脅威や対策への理解を深め、継続的な関心を持ち続け、将来の防災リーダーを育成することを目的としています。さらにお互いの交流を通じて世界中の高校生同士の絆を深めて行きます。このような名誉ある大会の議長職を務めるといった貴重な機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。

2016年4月14日及び16日に熊本県を中心に最大震度7を記録する大地震が発生しました。熊本県でも地域住民の懸命の努力による救命活動や復興が行われてきましたが、同時に世界中の人々から多くの支援をいただきました。その時のせめてもの恩返しとして、私たち熊本県民の経験を今後の自然災害や防災の取り組みに生かすことができれば幸いです。



副議長
熊本市立必由館高等学校
塩島 杏梨

今回の「世界津波の日」高校生サミットは、国内外約500名の高校生が熊本で一同に会して開催されます。

私はドイツで約14年間生活していました。およそ1年前に熊本県に移住してきましたが、阿蘇の世界最大級のカルデラなど、熊本の自然の豊かさを実感しています。一方、熊本県はこれまで多くの自然災害を経験してきました。近年では、2016年の熊本地震、2020年の7月豪雨において甚大な被害を受けました。しかし、多くの自然災害に見舞われてきたからこそ、熊本県で今回のサミットが開催されることに大きな意義があると感じています。

今回のサミットでは、防災・減災・創造的復興についてのアイデアを、世界中から集まったメンバーと考え、共有します。それらのアイデアを世界に発信することで、世界中の人々がこれまで以上に自然災害について高い意識を持つきっかけとなしてほしいです。

自然災害の脅威に立ち向かうためには、人々の協力が必要不可欠です。今回のサミットが、国境を超えた「きずな」を育む場になることを心から願っています。



副議長
九州学院高等学校
渡辺 樹李亜

これまでに、高知県、沖縄県、和歌山県、北海道、新潟県で開催されたこのサミットが、今年2024年は熊本で開催されることとなりました。

このサミットでは、「何を学ぶのか」は勿論、「学んだことをどう伝え、繋げていくのか」と言う事に力を入れ、国際社会に発信する場となる事を期待しています。

今回のサミットのテーマは、“熊本の教訓を世界へ、そして未来へ”
近年熊本では、2016年の「熊本地震」や2020年の「令和2年7月豪雨」を経験しました。

特に、熊本地震は私達熊本市の高校生にとってはテレビの向こう側であったような遠い出来事などではなく、実際に体験した現実です。実際に災害を経験しているからこそその学びや伝えられることがあると思います。

未来の社会の担い手である私達高校生が交流を深め、実りある議論が出来る様、精一杯努力していきます。

10月、皆様にご会えることを心待ちにしております。



司会
熊本県立東稜高等学校
石川 正宣

2年ぶり6回目の「世界津波の日」高校生サミットが、私の地元、熊本で開催されることをとても光栄に思います。今年は年始に能登半島地震が発生し、また津波も観測されました。発災から数ヶ月経った今でも復旧の目処が立たない地域もあり、一日も早い復旧を願っています。

ここ熊本でも直近10年で熊本地震や豪雨災害を経験しています。実際に私も熊本地震で震度7を二度経験しました。そのときに体験して得た気づきや思いなどを今回の高校生サミットで発信し、サミットに集う皆さんの経験や意見を共有することで、有意義な大会にしたいと思っています。そして、防災意識の輪が世界中に広がることを強く願います。

私は今回、司会としてサミットの進行を務めます。皆さんの活発な議論の手助けができるよう精一杯頑張ります。10月に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



司会
熊本県立済々黉高等学校
伊藤 功佑

今年1月、石川県能登半島で、地震と津波が発生しました。地震発生時、ニュースでは語気を強めて避難を呼びかけるアナウンサーの方が話題になりました。命を守ることを最優先に考えて必死に避難を呼びかける姿に、緊迫した状態であると感じて避難をした方がたまたくさんいたことでしょう。

熊本でも地震や豪雨など、過去に何度も自然災害が起こりました。自然災害は、人の意思に関係なく発生するものであり、それを止めたり変えたりすることはできません。しかし、変えられるものがあります。それは、災害に向き合う私たちの行動です。「過去から学ぶ」ということは、「自分たちの行動を変える」ということです。先のアナウンサーは、まさに過去から学び行動に移した例だと思います。

私たち高校生が本サミットにおいて、防災・減災・復興についてお互いに学び合い、それをもとに自分たちにできることを考えて行動に移すことで、地域社会を変えることができます。地域社会を変えることができれば、世界全体に対して情報を発信することになり、世界全体で防災についての意識が高まり、人々が命を守る行動ができるようになると思います。

本サミットでは、私自身も司会として自分のできる精一杯の努力をして参ります。参加される皆さんの深い学びと、そこから行動に移すきっかけになるように、お互いに活発に議論していきましょう。



司会
熊本県立八代高等学校
吉沢 ゆい

今回の「世界津波の日」高校生サミットではテーマとして「熊本の教訓を世界へ、そして未来へ」が設定されています。熊本地震や令和2年7月豪雨など数多の自然災害に見舞われてきた熊本にとって「復興」という指標は私達を励まし、前向きに生活していくことを可能にさせてくれます。地震の影響で一部が損壊してしまった熊本城は最先端の技術と昔から受け継がれてきている伝統技術を効果的に組み合わせることで再建が進められており、その光景は私達を勇気づけています。

その為、「復興」というキーワードを基に自然災害から回復を遂げつつある熊本の教訓を生かし、世界での復興の在り方を議論していく機会にしたいです。

このサミットは日本全国、世界中から自然災害への解決の糸口を掴む為のアイデアを持った高校生が考えを発信し、共有できる貴重な機会です。

世界中で自然災害が多発している今日、世界各国が共通意識を持ち、共に協力して取り組んでいかなければなりません。

このサミットを通して被害に遭われる方々を一人でも多く救えることを心から願っています。